

ルネサス工場門前で「シンポ」ビラ配布 通用門からの出勤誘導 柳井工場

「ルネサス」実行委員会は、15日、厳しい冷え込みの中、山口工場（宇部市）、柳井工場（柳井市）の両工場の門前で早朝宣伝行動を実施。24日におこなわれるルネサス大リストラを考えるシンポジウムの案内ビラを配布しました。

山口工場門前では6名が参加、133枚のビラを配布しました。出勤中の従業員の多くがビラを受け取るものの、ビラを受け取らない人もいます。実行委員会のメンバーの「ぜひシンポに参加してください」との呼びかけにニコッと笑顔が返ってきます。ビラを受け取った人の中には歩きながらビラに目を通して、守衛にこれ見よがしの様子で工場に入っていく人もいます。早期退職で従業員が辞めていって出勤してくる従業員の数も少なくなっています。派遣会社（日研総業）のバスから降りて工場に入っていく従業員も見受けられました。

柳井工場門前では5名が参加、50～60枚の案内ビラを配布しました。工場の門の外でのビラ配布にもかかわらず、「止めてほしい」と会社の嫌がらせがありました。途中から、通常の正門前からではなく通用門から従業員を工場内に誘導するなど、実行委員会の宣伝にピリピリ神経をとがらせています。

また、16日にはシンポジウムの会場となる船木（950枚）、万倉（450枚）の新聞販売店にチラシの折り込みを申し入れました。両地域の20日の新聞にはシンポビラが入ります。

「ルネサス」シンポジウム

日時 11月24日（土）14:00～16:30

場所 宇部市楠総合センター 大ホール

講師 下関市立大学経済学部 准教授

関野 秀明さん

パネルディスカッション（集団討論）

<パネラーの皆さん>

電機情報エフ 森 英一書記長

山口県商連 松田一志事務局長

山口県議会 藤本一規議員

電機大企業の大リストラも争点

13日、ルネサスやパナソニック、NEC、シャープなどの電機大企業の13万人にのぼる大リストラ強行問題が共産党・志位和夫委員長の国会質問で取りあげられました。野田首相も志位委員長の「自殺も考えた」という程ひどい会社の退職強要・パワハラについての質問に「一般論」と断りつつも「あってはならない」と答弁。さすがに大企業擁護の野田首相も具体例を示した退職強要のひどさを認めることはできませんでした。

野田政権が追い詰められて国会解散となりました。いよいよ総選挙に突入します。ルネサスの大リストラも今回の総選挙の重要な争点です。大企業・財界中心政治の転換はかって誰もが安心して働くことができる社会をつくるためにも、地域経済まもる市民の願いを実現するためにも総選挙で民意を示しましょう。これからの日本の進路を決める岐路となる総選挙。みんながガンバリましょう。